学　び　舎（まなびや）

～清和台南小学校　学校通信　第12号～

平成29年1月10日

しっかり締めくくろう
～3学期始業式～

３学期が始まりました。この学期は、それぞれの学年の一年間のまとめとしての学期「３学期」であると同時に、新しい学年になるための準備の学期「０学期」でもあります。

児童朝会「ハンカチ・ティッシュ調べ」

４月になってそれぞれ学年が一つ上がれば、当然、学習する内容がだんだん難しくなっていきます。下級生の児童が増え、お兄さんお姉さんとして優しく教えてあげなければならない場面も増えてきます。学校生活の中心として委員会を動かし、学校行事をより良いものにしていく必要もあります。

新学年になって自分の力を十分に発揮するためには、気持ちを引き締め目標を持ってこの３学期を乗り切らなければいけません。その意味で今年一年の始まりでもある、この３学期はとても大切な学期であるということができます。

子どもたちも料理に挑戦!!　～PTA親子クッキング～

２学期終業式の放課後、PTA厚生部主催の「PTA親子クッキング」が家庭科室で開催されました。事前の申し込みでは定員を大きく上回る申し込みがあり、抽選の結果、約40組80人近くの親子が参加されました。

メニューは子どもたちに大人気の「ひじきスパゲッティ」「かんぴょうの炒め煮」「ぶどうかん」。

調理を指導をしたり支援したりして下さるのは、いつもお世話になっている５人の給食室の方々です。

普段、高学年の家庭科の授業以外ではなかなか調理する機会のない子どもたちですが、包丁を握ったりフライパンを加熱したり、目を輝かせながら調理に取り組んでいました。

作った料理をみんなで食べた後は、調理室の見学です。普段入ることのない調理室には、大型の調理器具などがあって、子どもたちも家庭の台所とはまた違った様子に興味津々でした。

私たちの命や健康に直接結びついている「食」を考える機会として、子どもたちにとって絶好の学びの場になったと思います。今回企画してくださったPTA厚生部の方々、準備から片付けまでお世話になりました。本当にありがとうございました。

「自分から～する」「続けて～する」
～あいさつ・そうじ～

大切な学期とは言っても、この３学期は最も短い学期でもあります。始業式から数えて修了式まで74日、６年生の卒業式まで67日しかありません。２学期が113日あったことを考えると、その半分余りといった短い日数しかないのです。大切なこの学期をむだにすることのないよう、どのようにして過ごすのか。そのために、毎日の生活で特に心がけてほしいことが二つあります。

1学期　大掃除

一つ目は「自分から～する」ということです。他人に言われてするのではなく、自分自身の強い意志を持って、いろいろなことに取り組んでほしいということです。

他人に言われて物事に取り組むと、失敗したとき、すぐにそれを他人のせいにして自分自身で反省することをしません。いろいろな能力を持っていてもそれでは力を十分に発揮することができないのです。

2学期　大掃除

二つ目は「続けて～する」ということです。どんな簡単なことであっても、それを続けていけば確かな結果となって返ってきます。何よりも「続ける」ことによって、「今日はやめておこう」「明日やればいい」と思う弱い自分に打ち克つ、意志の強さを身に着けることができるのです。

では、これらの二つに共通する取り組みにはどんなものがあるでしょうか。例えば、それは**あいさつ**と**そうじ**です。

児童朝会「あいさつかつどん」

みんなで声をそろえてするあいさつではなく、個人としてするあいさつには、「自分で」声をかける勇気が必要です。またその日その日の気分に流されずに「続ける」力も必要です。そうじにも同じことが言えるでしょう。

まずは、身近な何気ないこととして、毎日の**あいさつ**と**そうじ**を大切にしてください。３学期に何か「自分で」「続ける」ことで、次の学年に上がるための力を養うことができると思います。

保護者アンケートより

家では時間に追われ、お手伝いをさせようと思いつつ、ついつい自分でした方が早いし…、ということでなかなか一緒にクッキングはできないので、今回、親子で一緒に楽しむことができてうれしかったです。

毎日給食を楽しみにしています。野菜嫌いな子が給食のおかげで、少しずつ食べることができるようになり、おいしい給食のおかげだと感謝の気持ちでいっぱいです。

子どもたちの学校生活の中で、給食は大変大きな力を持っていて、調理員さんたちの愛情が成長の糧になっていること、とても感謝しています。